

北の近江共創ビジョン

<西浅井立志編>

水際文明～人と水の関わりの中で共感（温かさ）が循環する地域社会へ～



一般社団法人 北の近江マザーレイク共創会議



Mother Lake
Goals

背景と課題

豊かな自然と失われゆく活力



北の近江は、森・川・里・湖が繋がる「水際」の風土を持ち、豊かな自然と歴史文化に恵まれています。しかし近年、その活力は徐々に失われつつあります。

暮らしの過剰な単純化



効率化と最適化の名のもとに、「どう生き、どう死に、どう食べるか」という暮らしの全体構造が単純化され、地域本来の温かさや深みが薄れてしまったことに大きな要因があると考えています。

“

水から考えなおし、
土に触れなおし、
人との関わりをつなぎなおす

”

もう一度、この地から社会を「真に豊かで温かく、持続可能なもの」へ

基本理念

水際文明

人と水の関わりの中で共感（温かさ）が
循環する地域社会システムの構築



当法人の3つの役割

基本理念に基づき、持続可能な地域づくりを推進するためのエンジンとなります



① 編集者 思想と実践を統合する

バラバラになった要素を意味のある全体構造に組みなおす行為。大学、企業、デザイナー、住民など「問い合わせを持つすべての人」に場を拓き、外部の知性や資本を基本理念に合致する方向へと導きます。



② 越境者 制度と現場を接続する

行政や企業の「論理」と、地域の「生活実感・共感」の両方に精通する強みを活かします。全ての関係者の意図を理解し、硬直した既存の枠組みを解きほぐし、現場の共感に接続させます。



③ プラットフォーム 多様な人が集う共鳴の場

資本や手続きに縛られず「共鳴の論理」で繋がる公共的な場。高齢化、孤独、障害といった「弱さ」を社会を支えるリズムとして捉え、温かくしなやかな地域コミュニティを共に支えていきます。

(再)編集:暮らしと身体

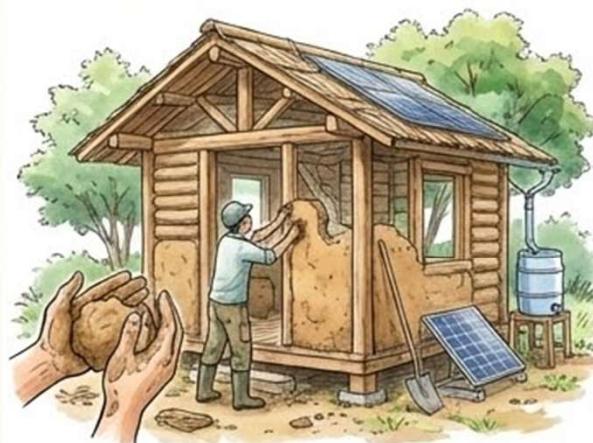
① 食と農



「耕し方の再設計」

農業を単なる事業ではなく、「風景をつくる行為」「社会を耕すこと」として捉え直します。

② 労働と身体



「住まいと職場の同一化」

地面から立ち上がる仕事へ。身体感覚を取り戻す「オフグリッド小屋」や「断熱DIY」など。

③ 教育と表現



「風景と学びの統合」

知識と実践の間に風景を。「大学サテライト」や「建築ツアー」による実践知の学び。

(再)編集:つながりと循環



福祉と関係



④ケアの共同体としての再構築

ケアを制度ではなく「関係性」へ。「弱さ」を排除せず、地域の呼吸として包み込む温かい社会構造を目指します。



観光と交換



⑤通貨と共に感が循環する流通圏

観光を「消費」から「交換」へ。旅人を介して、お金だけでなく共感や温かい気持ちが循環する仕組みを作ります。

(再)編集: 社会システム



環境とエネルギー



文化と編集



⑥ 環境とエネルギー

暮らしが発電所になる社会。エネルギーという「見えない公共」を地域でデザインし直します。



行政と共創



⑦ 文化と編集

制度を詩に変える。過去の文化を今の風土に合わせて再編集し、生活の中で編み直します。



企業と挑戦・情報



⑧ 行政と共創

公共制度の再設計。トップダウンではなく、地域との協働的実験でルールを作ります。

⑨ 企業と挑戦・⑩ 情報

企業が「生活実装」を学びなおす場としての地域。思想が共鳴し流通する社会構造へ。

ビジネスモデル案

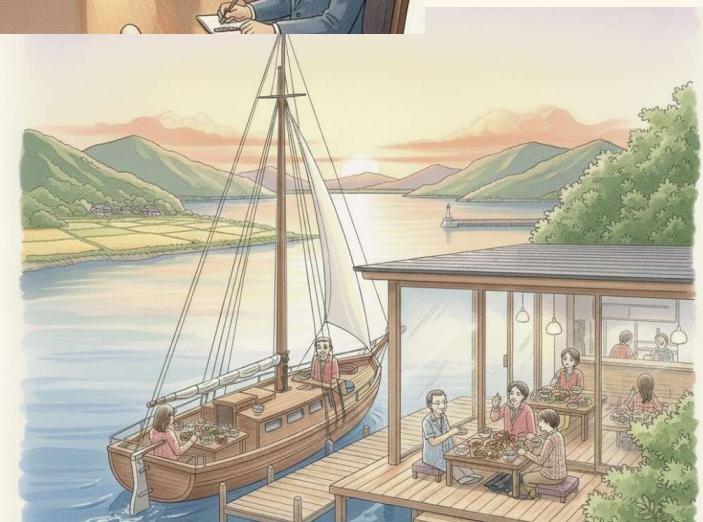
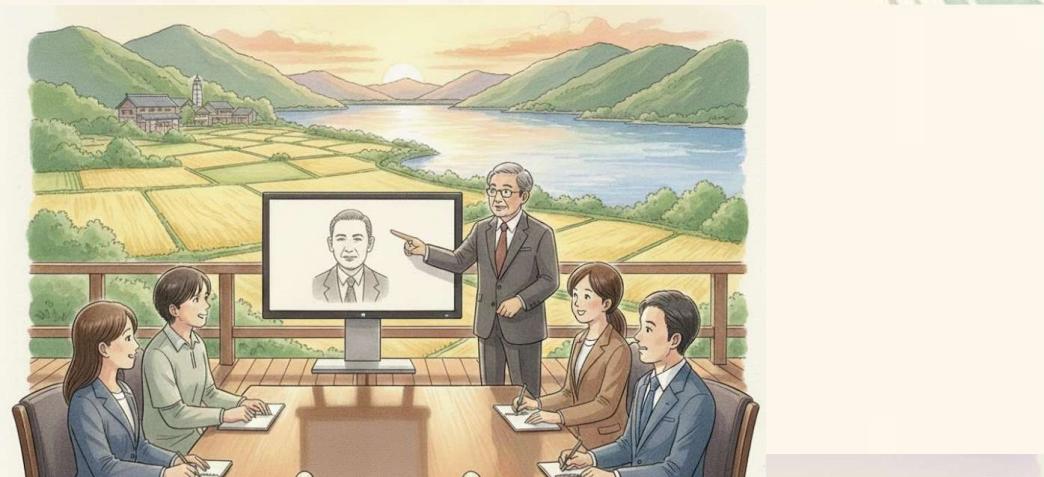
企業研修&静かなクルージング



企業研修プログラム：ヤンマー創業者・山岡孫吉の志に触れ、100年先の未来を見据えた物語から学ぶ、独自の研修を提供。

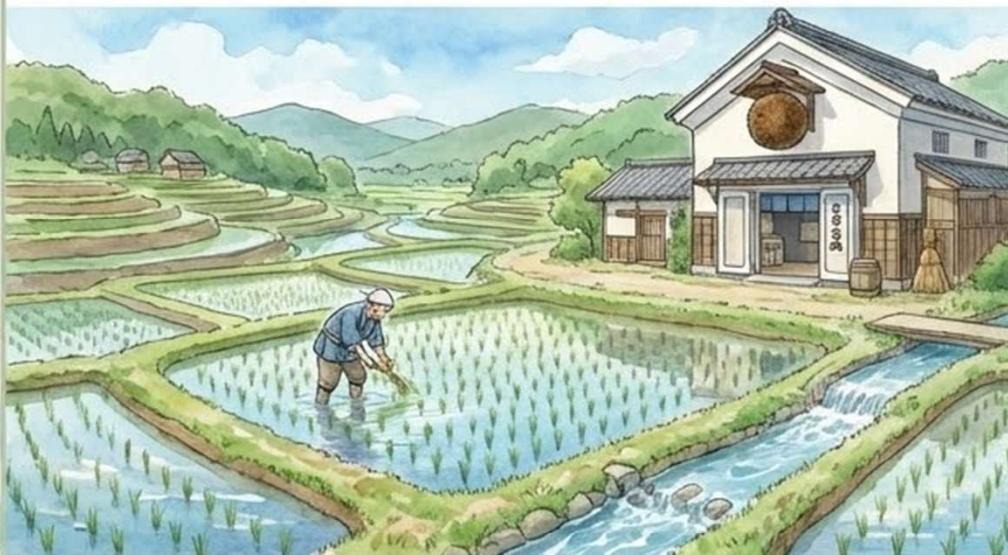


静かなクルージング：奥びわ湖の小さな港を、エンジンのない船（ヨット等）で繋ぐ。環境と調和し、地域の食と自然を愉しむ「風の舟たび」。



ビジネスモデル案

水源を守る水と米プロジェクト



耕作放棄地の増加は地下水脈の危機です。「酒づくりは米づくり、米づくりは土づくり」。中山間地の農地を守り、持続可能な農業と美味しい地酒文化を次世代へ繋ぎます。

オフグリッドな「シン兼業農家」



ライフラインが途絶えても成立する、自律分散型の地域社会へ。中古農機のシェアシステムなどを構築し、新しい形の兼業農家を核とした力強い農村づくりを進めます。

ビジネスモデル案

水際文明の拠点づくり

ヤンマー永原工場の活用

昭和24年、農村の暮らしを豊かにしたいという志で建てられた「ヤンマー永原工場」。

この歴史ある場所を、水際文明の「編集拠点」とします。研究者、アーティスト、企業、そして地域住民が集い、問い合わせり、持続可能な社会を共にデザインする場として再生させます。



推進体制とロードマップ

西浅井地域共創懇話会



地域の多様なステークホルダーと共に、ビジョンの実現に向けて対話を重ねます。

- 滋賀県（北の近江振興事務所）
- 長浜市、西浅井地区地域づくり協議会
- ヤンマーホールディングス（株）
- 地域事業者・団体（ONE SLASH（織））、エネシフ湖北、（一社）Well-being in Nature、等）

ビジョン期間：～2030年度末

次年度より事業計画を具体化し、ビジネスモデルの実装を進めます。

「関係人口」から「共創人口」へ。仲間と共に、未来を耕し始めます。

